

いま空前の落語ブーム！

舞台になった江戸の町と江戸人の姿を
古典落語を題材に
ビジュアルに理解できる図鑑が完成

- ★取り上げた古典落語は各巻50席(3巻は86席)
- ★江戸期の版本から各巻350点以上の図版
- ★登場人物のせりふがっぱいの「あらずじ」
- ★現代人にはピンとこない言葉には「脚注」
- ★「昔はこんな事になってました」とわかる「豆知識」

第一章 長屋の人々

■八つあん、熊さん、与太郎さん。長屋は落語国の大看板が勢揃い

実は公務で忙しい大家さん／与太郎はいつも一所懸命／招きたくなる長屋の幽霊／子供の名付けは悩ましい

第二章 町内の人々

■鳶頭に師匠に知患者のご隠居。ご町内は人材豊富
横町の知識人、ご隠居さん／町内の色男、建具屋の半公

第三章 お店の人々

■落語国のお店は商いが危うい。若旦那は道楽に励み、番頭もぼちぼち

若旦那の勤労意欲を疑う／概ね奥ゆかしいお店のお嬢さん／お家のためにご奉公する番頭さん

第四章 武家の人々

■水戸黄門に大岡越前。実在の有名人も活躍する落語国の侍社会

本郷にそれなりの屋敷を構える赤井御門守／小話に登場する将軍と御三家／子供も憧れる落語国の町奉行

第五章 往来の人々

■奇人変人酔っ払い、犬猫狐狸も出没する落語国の往来風景

往来で商いをする酔っ払い／あちこちで騒ぎを起こす、落語国の猫／天狗はどこからともなくやって来る

第六章 遊びの町の人々

■八や熊に、いつきの夢を見させる遊びの町の人たち
伝説の花魁、高尾太夫／宿の飯盛女、実は宿場女郎

★落語に登場するキャラクターの魅力を
86席の古典落語とともに味わえる一冊★

シリーズ第3弾は
おなじみの「八つあん」「熊さん」「与太郎」「ご隠居さん」
道楽者の「若旦那」、吉原の花魁「高尾太夫」、から
天下の副將軍「水戸黄門」、名奉行「大岡越前」
さらに、長屋に出る「幽霊」、騒ぎを起こす「猫」や「天狗」まで登場

江戸落語図鑑3

—落語国の人びと—



飯田泰子 著

(企画集団エド代表)

四六判 256頁

本体 1,800円

ISBN978-4-8295-0702-5

2月新刊

2月下旬 新刊搬入予定です

配本部数申込締切は 2月3日(金) です

FAX 03-3813-4615

芙蓉書房出版

〒113-0033
東京都文京区本郷3-3-13
http://www.fuyoshobo.co.jp
TEL. 03-3813-4466
FAX. 03-3813-4615

発行	芙蓉書房出版	各巻本体 1,800円	注文数	注文者
江戸落語図鑑3 落語国の人びと【新刊】				
江戸落語図鑑2 落語国の町並み【既刊】				
江戸落語図鑑 落語国のいとなみ【既刊】				